



はだっこだより

秦幼稚園

令和8年度 第2号

暑くなり、水に触れて遊ぶ機会が増えています。砂場で水を流して遊んでいる中で、といをつなげて長い川や大きな温泉を作っていました。「もっと長く水を流してみたい」と築山からといをつなげて、水を流してみることになりました。大きさや形、長さ、数など「どうしてだろう?」「どうしよう…」と問題が出てきました。そこで、子どもたちは繰り返し試してみることになりました。

5歳児が中心になって
といを並べました。



曲がったといは、合わせ方を考えて
砂場に向かうようにしました。



これもつなげたら、砂場に
届くんじゃない?



砂場までつなぐために、いろ
いろな道具を出してみました。

なぜか、途中で水が漏れてしまいます。といといをぴったりくっつける4歳児に、5歳児は重ねてみることを提案しました。



どうやってつなげるの?



難しかったのは半円型と筒形のといのつなげ方でした。

あそこで止まってるんだよなあ

これを上にしてみようか?

小さい(細い)筒に変えたら
流れるんじゃないかな



3歳児は、5歳児が作ったといの川に魚を流してみたくりましたが、なかなか流れませんでした。



おおきなナスの葉っぱを見付けました。最近歌っている『♪あめふりくまのこ』の歌詞のように、頭にはっぱをのせてみて、傘のようになるか試してみました。

身近にある道具を使ったり、失敗した経験から新たに試したりして『こうしてみたい』という目的に向かって取り組む5歳児の姿を見て、3・4歳児も遊びに興味をもち、真似したり教えてもらったりして一緒に遊びました。